

金ヶ崎にいら〜っしやい

# 金ヶ崎町の歴史発見



SPOT 1

国選定 武家屋敷

城内諏訪小路

重要伝統的建造物群保存地区

北上川の右岸に築城された金ヶ崎城は本丸、二の丸、蔵館、東館、観音館、大庭から成り、明治維新まで伊達領北辺の鎮台としての役割を果たした城でした。現在も蔵館以外はよく残っています。城郭の周囲には、武家屋敷の町並みが造られています。近世の武家屋敷としては、町並みが今もよく残されています。貴重な所で、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。屋敷のまわりはヒバやドウダンの生け垣が巡らされ、庭は桜・紅葉・サルスベリなど豊かな樹木群で構成されています。主屋は直ぐ屋で、茅葺寄棟造りの大屋根が特徴です。



## ① 金ヶ崎要害歴史館

保存地区内に平成26年6月オープン。金ヶ崎要害を中心とした江戸時代に関する歴史と文化に関する展示施設で、学習の場・催事などに利用できる多目的室もあります。

【開館時間】9:00~17:00 【休館日】毎週月曜(祝日の場合は翌日)及び年末年始 【展示室入館料】大人200円(団体20名以上150円)、高校生以下無料 ※多目的室は1時間530円(要予約)



## ② 白糸まちなみ交流館(案内所)

金ヶ崎町内にあった古い建築様式の民家を再生したもので、保存地区の案内所として訪れる人々のふれあいの場となっています。地域文化伝承の場としても親しまれ、伝統文化や伝統行事にちなんだ展示会・祭事などが活発に行われています。



## ③ 大松沢家庭園



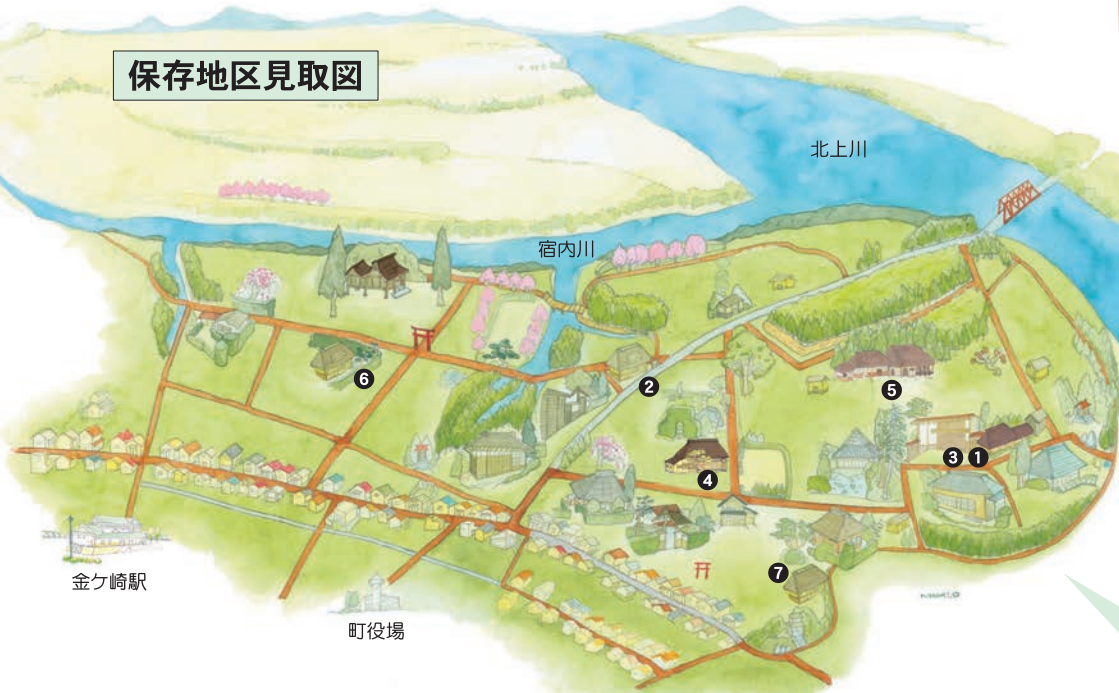
## ④ 伊東家侍住宅



## ⑤ 片平丁・旧大沼家侍住宅

## ⑦ 土合丁・旧大沼家侍住宅

## 保存地区見取図



前九年の役(1051~1062年)の折り、安倍頼時の一族が源頼義の軍を迎え撃つために造った柵です。ここを守ったのは頼時の三男・宗任です。朝廷軍と堂々と戦った安倍一族の血は、平泉の黄金文化を築いた奥州藤原氏へ受け継がれていきました。

SPOT 2

鳥海柵跡

## 国指定史跡



SPOT 3

## 軍馬の郷 六原資料館

旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎として使用された建物です。明治末期に建築されたもので、煉瓦積みの布基礎や洋風の外壁、上げ下げ窓などの特徴があります。



国登録有形文化財